*情報公開文書　（単施設用）*

研究機関名：旭川医科大学

**作成年月日**：2026 年 9 月 29 日（第 1 版）

| | |
|---|---|
| 承認番号 | 26098 |
| 課題名 | がんゲノムパネル検査結果を用いた非胸膜中皮腫の遺伝子変異解析 |
| 研究期間 | 2026 年 10 月 7 日（実施許可日）　～　2029 年　3 月　31 日 |
| 研究の対象 | 2019 年 7 月 1 日～2026 年 9 月 30 日に非胸膜（腹膜、心膜、精巣漿膜）中皮腫と診断され、がんゲノムパネル検査を受けられた方。さらにその中で臨床情報や検査結果を C-CAT（がんゲノム情報管理センター）のシステムへの登録ならびに学術研究や創薬にその情報を利活用することに同意された方 |
| 利用する試料・情報の種類 | ☑診療情報（詳細：C-CAT に登録された臨床情報（年齢、性別、Performance status、喫煙歴、石綿曝露歴、化学療法)、病理組織情報（組織型)、遺伝子解析結果（遺伝子解析に用いた検査の種類、一塩基多型、copy-number alteration、再構成、tumor mutation burden、microsatellite instability))<br>☐手術、検査等で採取した組織（対象臓器等名：　　）<br>☐血液<br>☐その他（　　） |
| 利用予定日 | 開始日：実施許可日から 1 ヵ月後 |
| 試料・情報の管理について責任を有する者 | 旭川医科大学　学長　西川　祐司 |
| 研究の意義、目的 | 中皮腫は体の内側を覆っている膜（胸膜、心膜、腹膜、精巣漿膜）からできるとても稀な腫瘍です。中皮腫のうち約 85-90%は胸膜中皮腫です。一方で、それ以外の非胸膜中皮腫はさらに珍しく、特に腹膜中皮腫ではおよそ半分の患者さんが 1 年以内にお亡くなりになっており、日本国内で年間 120 人ほどがお亡くなりになっています。近年、がんゲノムパネル検査という、がんに含まれる遺伝子変異を検索し、その遺伝子変異にあった抗がん剤を用いるための検査が行われるようになりました。検査の結果や臨床情報は受けた患者さんの同意を得て、国立がん研究センター内にあるがんゲノム情報管理センター（C-CAT）に保管され、学術研究や創薬に利活用されています。胸膜中皮腫では近年、この C-CAT データを用いたゲノム解析や予後（余命の見積もり）との関連が論文報告されています。一方で、非胸膜中皮腫ではその珍しさのためか、海外からの報告に留まり日本からの報告はありません。そこでこの研究では、C-CAT に登録されたゲノム検査結果や臨床情報を用いて、日本国内の非胸膜中皮腫の遺伝子変異の概要、予後との関連、海外からの報告との比較を行い、腹膜中皮腫の診断精度の向上とより正確な余命予測ができるようになることを目的としています。 |
| 研究の方法 | 既にがんゲノムパネル検査を受けられ、かつ C-CAT に登録されたデータを用いた研究です。個人情報の取り扱い等は C-CAT に従い、日常の診療への影響や |

| | |
|---|---|
| | 患者さんへの新たなご負担はありません。 |
| その他 | |
| お問い合わせ先 | 本研究に関するご質問等がありましたら下記の連絡先までお問い合わせ下さい。ご希望があれば、他の研究対象者の個人情報及び知的財産の保護に支障がない範囲内で、研究計画書及び関連資料を閲覧することが出来ますのでお申出下さい。<br>また、C-CAT へのデータ登録、登録されたデータの利活用について、一般的には、がん遺伝子 パネル検査を実施する医療機関において、検査実施前に文書で説明されています。C-CAT から我々に提供されるデータは、C-CAT へのデータ登録に同意され、かつ登録されたデータの利活用にも同意された方のものとなります。C-CAT に登録されたデータの利活用について、同意を撤回したい場合は検査を受けた医療機関にお問い合わせください。<br><br>照会先：<br>旭川医科大学病院 病理部・病理診断科 教授 谷野 美智枝（研究責任者）<br>〒078-8510<br>旭川市緑が丘東２条１丁目１番１号<br>電話　0166-69-3392 |